

# 岡崎駅東地区におけるまちづくりのあらまし

## ～ まちづくり交付金制度の活用と事後評価 ～

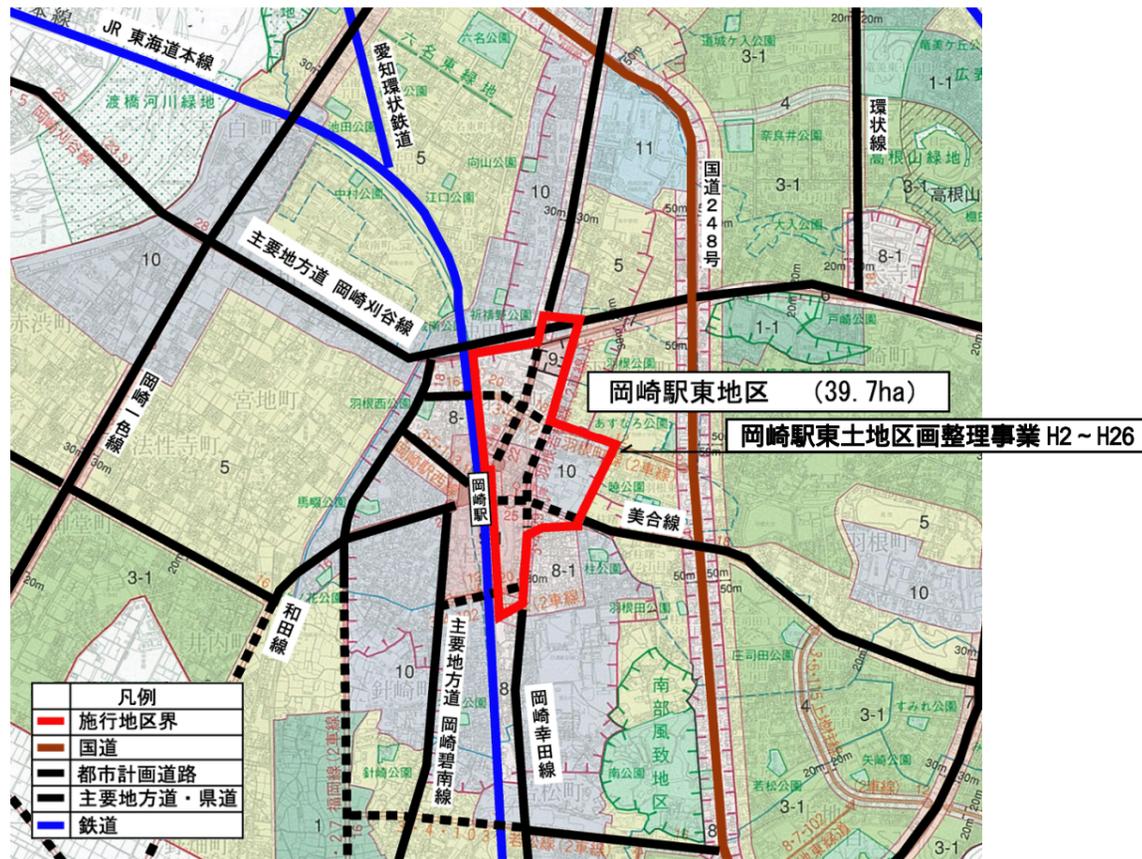
岡崎駅東地区においては、平成 17 年度～平成 21 年度にかけて、まちづくり交付金制度を活用したまちづくりを展開しています。

この制度は、公共公益施設等の事業を個別に実施するのではなく、地区のまちづくりの目標のもと、市町村の創意工夫により事業を組み立て、一元的かつ効果的に整備を実施する自由度の高い制度です。

この制度の活用にあたり、岡崎駅東地区では、**都市再生整備計画**を定めて国の採択を受け、交付金の交付を受けて、計画に定めた事業を実施しています。

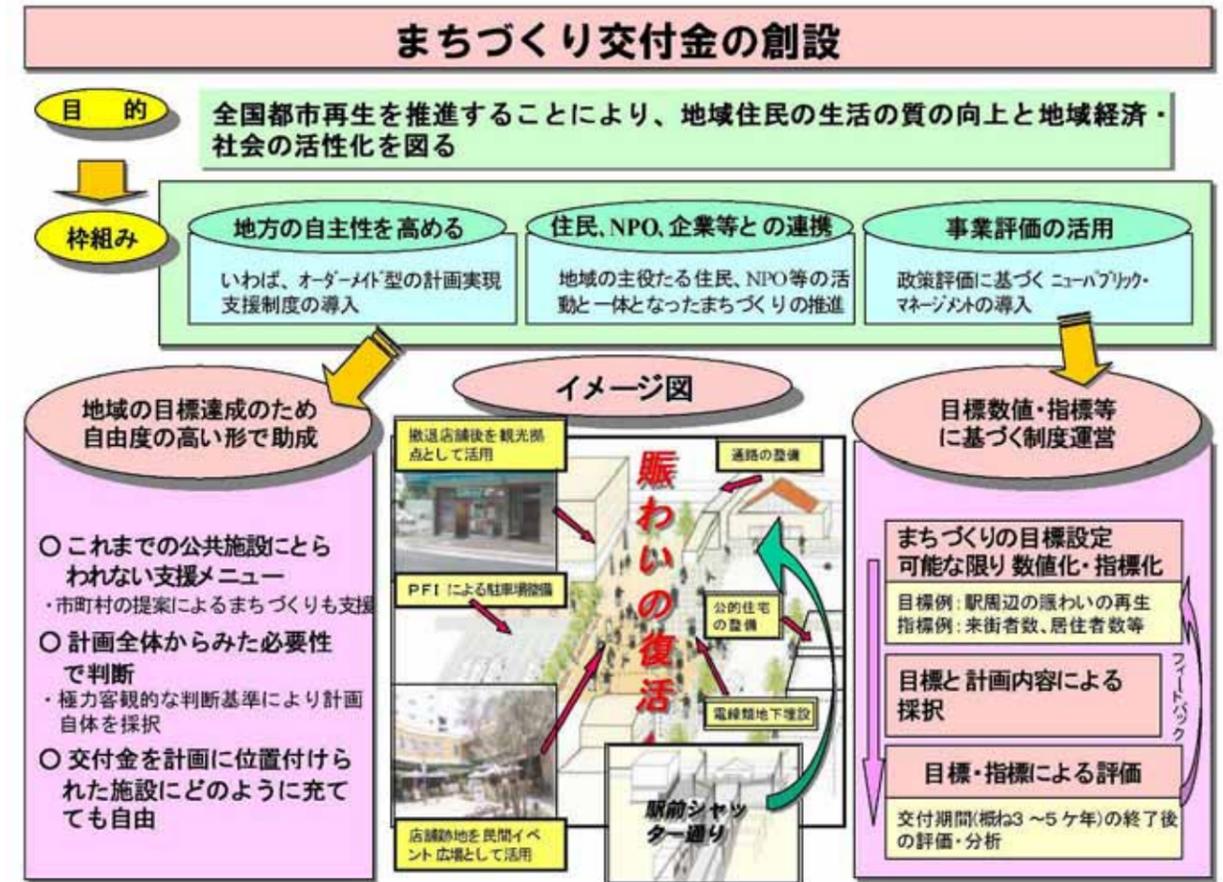
計画期間の最終年度である平成 21 年度は、まちづくりの成果について、可能な限り数値化された指標に基づいて、事後評価を行うこととされています。

<対象地区> 岡崎駅東地区（39.7ha）  
（区域：岡崎市 羽根町、柱町、針崎町の各一部）

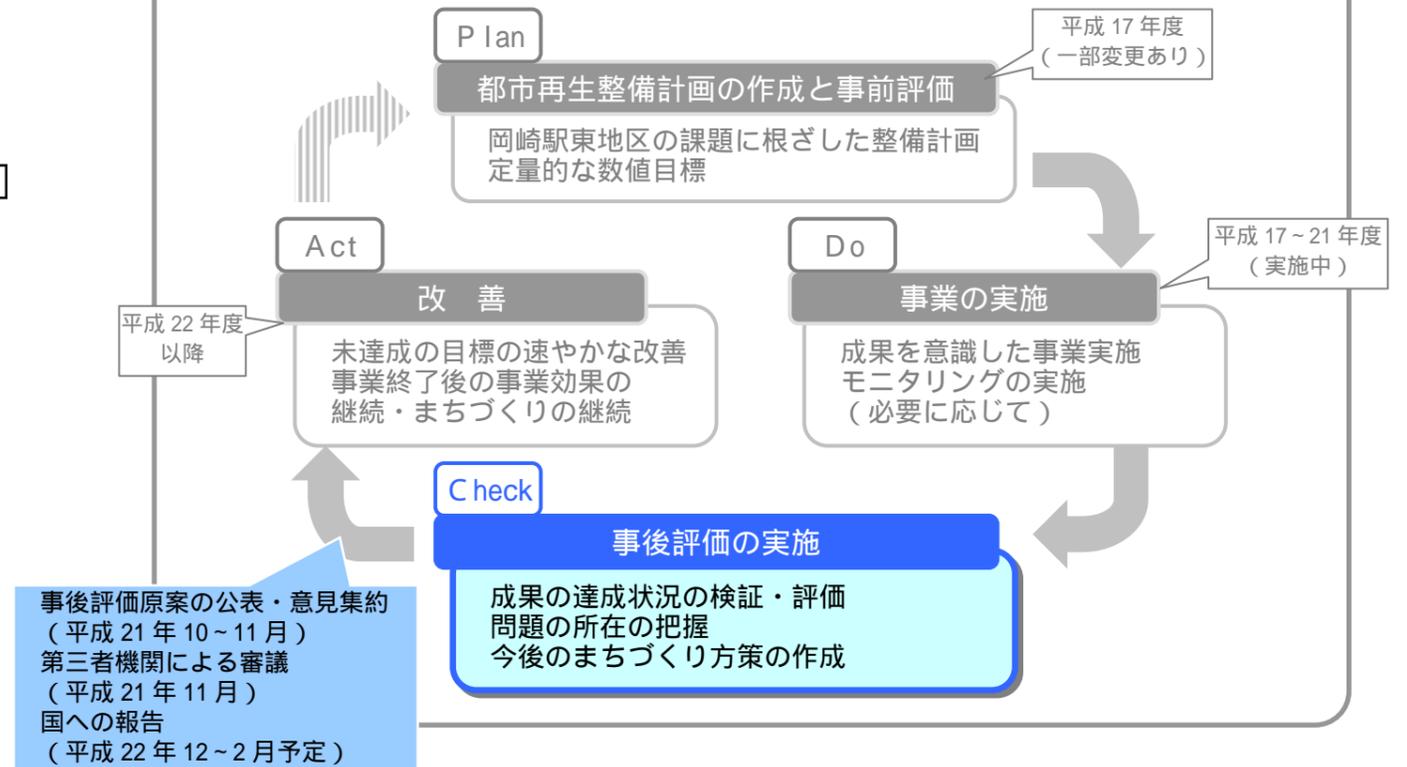


<計画期間> 平成 17 年度～平成 21 年度

## <まちづくり交付金制度の概要と事後評価のしくみ>



## 岡崎駅東地区におけるまちづくり交付金の“PDCA”サイクル



岡崎駅東地区都市再生整備計画の概要とまちづくり交付金事業の進捗状況（平成 21 年 10 月現在）

目標・目標を定量化する指標

大目標：「人のにぎわい」をテーマに、魅力ある都市空間を形成する

目標 1：都市の玄関口のシンボリックな空間形成と、安全・快適なアクセス性の向上といった交通結節点機能を強化する

目標 2：にぎわいを創出するため、人々が交流する環境空間を形成する

目標 3：防災機能の向上のための安心・安全なまちづくりを目指す

目標 4：音楽文化振興・にぎわいの創出や地域コミュニティを強化する事業を展開する

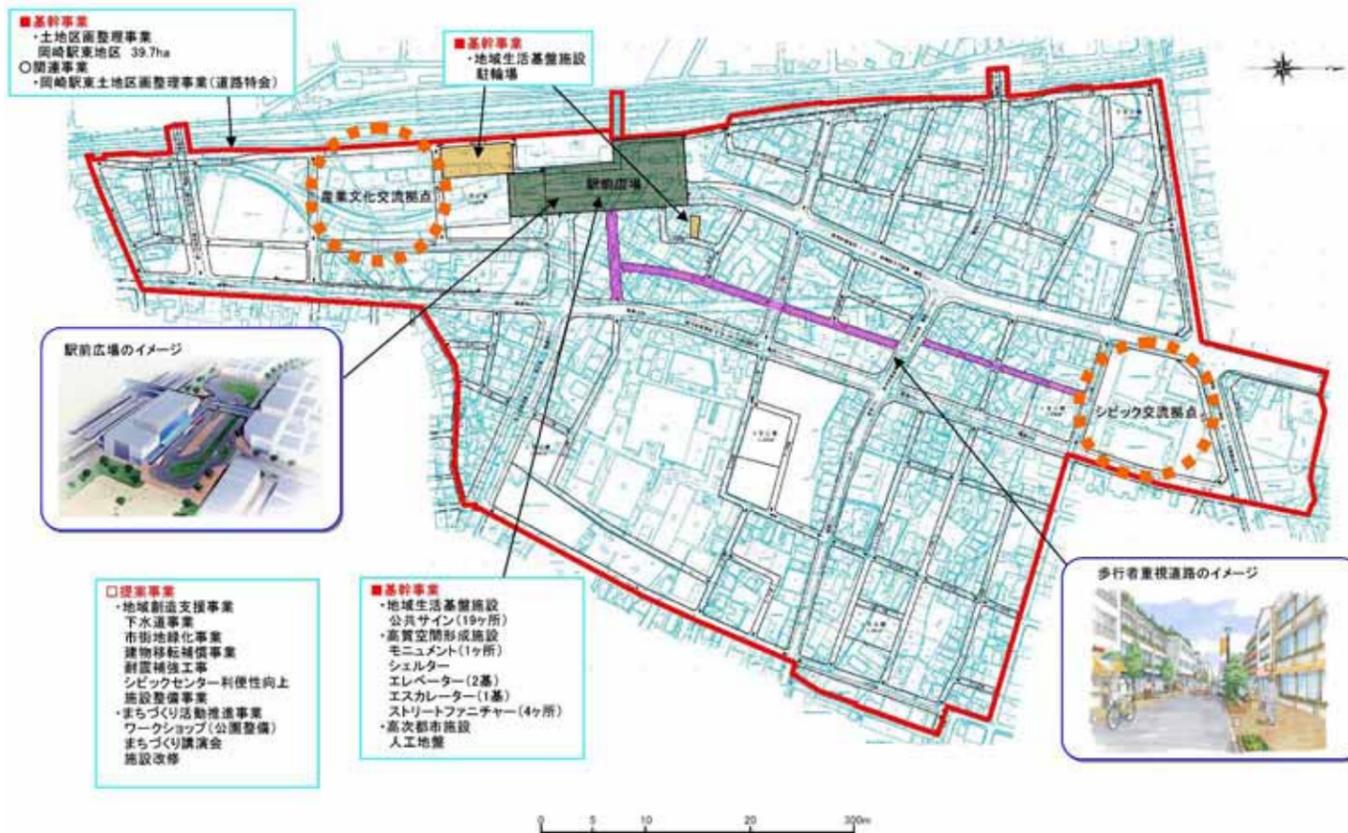
整備方針

整備方針 1：交通結節点機能の整備 整備方針 2：回遊性の創造とオープンスペースの整備によるにぎわいの創出

整備方針 3：防災機能向上のための基盤整備 整備方針 4：音楽文化振興等によるまちづくり活動の推進

指標（単位）	従前値	基準年度	目標値	基準年度
指標 1：岡崎駅の乗降客数（人/日）	29,800人	14	34,300人	21
指標 2：にぎわいの満足度（%）	24%	16	60%	21
指標 3：地震による警戒宣言発令時の退避場所への所要時間短縮（分）	9分	16	5分	21
指標 4：イベント来場者数（人/年）	47,700人	15	55,300人	21

整備方針概要図



岡崎駅東地区の課題

人でにぎわう、魅力ある市街地形成を図る必要がある

広域的な商業・文化の中心地としての役割が必要

駅前広場の交通ネットワークの形成、都市の玄関口としてシンボリックな空間形成が必要

来街者・居住者の憩いの空間形成が必要

防災機能を向上させ、良好な住環境の形成が必要

各種イベント来場者の増加

まちづくり交付金事業の進捗状況（平成 21 年 10 月現在）

事業 / 事業箇所名等	進捗状況
基幹事業 地域生活基盤施設 / 自転車駐車場等	H20～H21 で計画通り完了（予定）
高質空間形成施設 / ストリートファニチャー・エスカレーター・エレベーター等	H18～H21 で計画通り完了（予定）
高次都市施設 / 人工地盤	H18 で計画通り完了
土地区画整理事業 / 岡崎駅東地区	H17～H21 で計画通り完了（予定）
提案事業 地域創造支援事業 / 市街地緑化事業	H21 で計画通り完了（予定）
地域創造支援事業 / 下水道事業	H18～H21 で計画通り完了（予定）
地域創造支援事業 / 建物移転補償事業	H18～H21 で計画通り完了（予定）
地域創造支援事業 / 耐震補強工事	H20・H21 で計画通り完了（予定）
地域創造支援事業 / シビックセンター-利便性向上施設整備事業	H21 で計画通り完了（予定）
まちづくり活動推進事業 / ワークショップ（公園整備）	H19・H20 で計画通り完了
まちづくり活動推進事業 / まちづくり講演会	H17～H21 で計画通り完了
まちづくり活動推進事業 / 施設改修（シビックセンター-交流広場）	H17 で計画通り完了
関連事業 土地区画整理事業（道路特区） / 岡崎駅東地区	H2～H26 継続事業
施設改修 / シビックセンター-資料室	H20 で計画通り完了

関連事業の継続事業を除き、すべての事業において計画通り完了、または完了が見込まれています。